

◆ 琴平高校は創立80周年を迎えました ◆

★ 琴 高 通 信

地域とともに歩みます！

校長 中西 公子



香川県立琴平高等学校は、今年平成二十九年（2017）年、創立八十周年の記念の年を迎えました。昭和十二（1937）年に、二年課程の香川県琴平実科高等学校として創立されました。

「御山の朝霧はれてほのぼのと
あけゆく空に風かおる
今日よるこびの声満ちて

我学び舎の窓ひらく」これは創立時の開校歌です。

「創立当時の教科としては、修身・公民・家事・裁縫・手芸・茶道・花道等があり、高く豊かな教養と品性を備えた家庭人の育成を目指した実科女学校の特色が出ている」と、『創立五十周年記念誌』にあります。

昭和十四（1939）年には四年課程となり、校名を香川県琴平町立琴平高等学校と変更されました。昭和二十三（1948）年の学制改革により香川県立琴平高等学校、翌年には高校再編成により男女共学となりました。前掲の記念誌には「学校の歴史は、そこに集う若人の哀歓の積み重ねでもある。終戦まぎわの報国（報国とは、国恩にむくいるために働くこと、



正門より校舎を臨む（昭和42年）

正面の校舎は昭和36年完成のコンクリート2階建（図書館、作法室、音楽室等）。左の校舎は、昭和29年竣工の木造校舎。手前の植え込みのヒマラヤスギは、今では高く枝葉を伸ばしている。（50周年記念誌より）

国に尽くすこと）を主とした勤労奉仕。昭和二十三年新制高校となり、施設・設備の不十分な中、『琴高生あり』の気概にもえて地域ぐるみで行った芸能祭・弁論大会・校内マラソン大会……と、当時の様子が記されています。

増刊号
（創立80周年記念）
編集発行
香川県立琴平高等学校
香川県仲多度郡
琴平町142-2
電話0877(73)2261

その後、第一期・第二期の校舎完成の喜びもつかの間、昭和二十八（1953）年一月二十八日午後八時半頃、家庭科教室付近より出火、折からの強風にあおられて瞬間に火の手がまわり、校舎が全焼するという惨事に見舞われました。しかしながら、再起を誓った職員・生徒は、地域住民の皆様のご協力の下、一丸となって再建に取り組み、翌昭和二十九（1954）年には、早くも新校舎落成にこぎつけ、以後、体育館、南館、錬心館、本館、二号館と着実に整備と拡充をはかってまいりました。



中庭より南館を臨む

昭和36年から始まった校舎建設の第4期工事として、昭和52年にコンクリート4階建の南館（現在の1号館）が完成したが、これは取り壊し直前、一部がまだ木像であった頃の校舎。背景に象頭山が美しい山容をのぞかせている。（50周年記念誌より）

現在、本校、分校を巣立った卒業生は19,500名を超え、地元はもちろん日本全国で、さらには海外においても華々しく活躍されています。

私たち生徒・教職員一同は創立八十周年を機に、本校の歴史を振り返り、今後本校が進むべき方向を皆で正しく理解しなければいけません。このことは、私たちがこの輝かしい歴史と伝統を確かに受け継ぎ、琴平高校のさらなる飛躍をはかるべく邁進する覚悟の現れであると考えます。そして、そのことこそが、これまでの本校の発展にご尽力いただきました方々の熱意と努力に対しての恩返しと考えます。

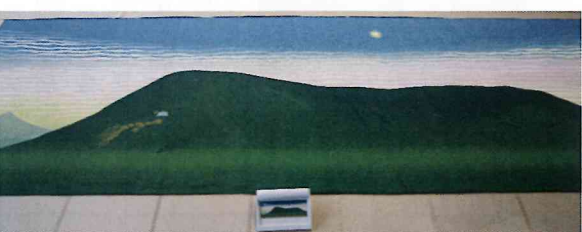
創立八十周年を迎える今年、いろいろな方面でご活躍の先輩の方々をお招きして、複数回の講演会を開催いたします。住民の皆様、是非とも我々と共に創立八十周年を祝っていただき、今後のさらなる発展に向け新たな誓いをたてる我々の姿を見届けていただきたいと思います。今後とも、よろしくお願いたします。

香川県立琴平高等学校
創立八十周年記念式典
平成二十九年十一月十一日（土）

創立八十周年記念事業 体育館緞帳の製作、順調に進む！

創立八十周年を迎えるにあたり、同窓会の方を中心に体育館の緞帳を新調していただくことになり、昨年十一月より製作が開始。その緞帳が五月末にはほぼ織上がり、完成に向けて裏面の仕上げ等を開始する時期となりました。その段階で、依頼者による織上がり検査が必要となり、六月二十七日に製作者（川島織物セルコン）に三井正樹同窓会副会長と共に出かけ、京都にある工場で製作途中の緞帳のサイズ・材質・色などが依頼していた仕様と違いないかの検査確認をしました。『象頭山の明星に』という題名の新しい緞帳が、工場の床面狭しと横たわる様子に感激し、「本校体育館に美しく映えるものになる」との感想を持って香川に帰りました。今後は仕上げ段階に入り、防災・縫製加工等がされ、九月末には完成予定です。

なお、同窓会等の協力により昨年十一月から始まった募金の現時点での総計は、目標金額には届かないものの、創立七十周年の寄付金とほぼ同額に達しました。ご協力ありがとうございました。記念式典開催まで残り四ヶ月余りとなりましたが、まだまだ募金を受け付けております。目標金額に近づけるようご協力よろしくお願いたします。



工場内の床面で作業中の緞帳

（報告 教頭 岡本義浩）

創立八十周年記念事業 先輩講演会

第一回 地元一町長が青春時代を語る！

日時：平成29年7月12日（水）午後2時
場所：琴平高校体育館

内容：栗田隆義氏（昭和47年卒）と小野正人氏（昭和55年卒）の二人に、高校時代から現在までの秘話を生徒の質問に答える形でお話いただきます。ナビゲーターは本校生徒会長と副会長が行います。



栗田隆義
まんのう町長



小野正人
琴平町長

第二回 先輩が落語を交え、思い出を語る

日時：平成29年9月27日（水）午後2時

場所：琴平高校体育館

内容：近石正人氏（昭和35年卒）より日本ハムフアイターズの北海道移転事業に携わった話や得意の落語を披露していただき、興味津々の90分です。

第三回 記念講演会

大ヒット映画『踊る大捜査線』の監督が、「高校時代〜今」を語る

日時：平成29年11月11日（土）午前11時30分

場所：琴平高校体育館

内容：本広克行氏（昭和59年卒）が、高校時代から映画監督として成功を収めるまでを対談形式で語っていただきます。



本広克行監督

Q&A section with questions and answers about the movie 'The Movie 2' and director Hirota.

Back To 1975 (昭和50年)

琴高の歴史を振り返る中で、やはり部活動の活躍は見逃せません。1975(昭和50年)は本校にとって忘れられない年となりました。その年は、剣道部(男子)とバドミントン部(女子)が、全国高校総体の団体とともに準優勝に輝いた年です。

バドミントン部と言え、その前年まで普通寺第一高校が県で数十年前チャンピオンになつていましたが、この年、県選抜大会と県高校総体でみごと優勝を勝ち取り、全国の大舞台でも堂々準優勝となりました。



昭和50年、全国高校総合体育大会(東京)で準優勝したバドミントンのメンバー

一方、伝統ある剣道部は、団体・個人とも過去何度か全国大会に出場していましたが、この年、全国高校総体で団体・個人ともに準優勝となりました。さて、下の写真をご覧ください。入場行進をしている生徒の後ろから四人目の生徒に注目。先鋒、氏家幹雄君です。どこかで聞いた名前？そうです、本校剣道部顧問の氏家先生です。もう一人、その後ろは、次鋒、宮田昇君。この方は、なんと本校剣道部顧問の宮田武先生のお父様です。なお、この写真に写っている選手は、その後、香川県の高剣道界をけん引している方ばかりです。



昭和50年、全国高校総合体育大会(東京)で入場する琴高剣士たち